

物理学委員会 (第 25 期第 12 回)

議事要旨

1. 日時 令和 4 年 11 月 20 日 (日) 10:00-11:30

2. 会場 ハイブリッド会議：学術会議 2F 大会議室＋オンライン (zoom)

3. 出席者 分科会委員 (敬称略)

野尻美保子 (委員長), 腰原伸也 (副委員長), 田村裕和 (幹事, オンライン), 山崎典子 (幹事), 浅井歩, 浅井祥仁, 板倉明子 (オンライン), 市川温子, 飯嶋徹, 岡眞, 川上則雄 (オンライン), 川村光 (オンライン), 梶田隆章, 櫻井博儀, 須藤靖 (オンライン), 田島節子, 永江知文, 深川美里, 藤澤彰英, 松尾由賀利 (オンライン), 森初果, 渡部潤一

4. 議事

4.1 学術会議総会とその議題内容の検討と意見交換

総会が 12/8、21 に延期された。次期会員・連携会員選考について野尻委員長から、関連した展開済み資料の確認と、相応しい候補者の選定に関する情報共有と日程を含む今後の進め方について説明があった。

4.2 未来の学術振興構想についての意見交換

野尻委員長から、評価委員会への委員推薦を求められていることの報告があり、物理学委員会からは 6 名程度を順位をつけて推薦することを申し合わせ、各分科会で利益相反に配

慮して候補者の推薦を行なうことになった。また各分科会で関連する課題の提案予定数などについての現状報告が行われた。

4.3 分科会報告，各種委員会報告

森委員より，化学委員会で「日本の社会・産業をリードする化学系博士人材とは」のシンポジウム(2022/11/5)，約5000名を対象としたアンケートなどが行われたことについて，紹介があった。特に博士号取得者の年収などがユニークな調査であった。

このような人材育成に関するエビデンスについて，分野を越えて広くデータをもつことが重要なので，物理学委員会でもなにか行動ができないか，ということで議論が行われた。

田島委員より，物理学会は，社会人会員が少ないのでアンケートの場として不足があり，応用物理学会のほうが適切というコメントがあった。また，アンケートも解析まで行なえる体制のもとで行なわないと，実効的なことができないとの意見もあった。化学委員会，物理学委員会といった分野別委員会ではなく，機能別委員会（我が国の学術の発展・研究力強化に関する検討委員会）などが適切ではないか，など様々な議論が行われた。

4.4 その他

公開シンポジウム「物理学のアプローチが開く世界とその展開」について準備状況の確認を行なった。

以上